

## 地域間交流研究Ⅳ

### 1. テーマ

「新ユーラシア鉄道」の開通に伴う中国国内の地域間連携に関する研究  
(中国内蒙古自治区・遼寧省・河北省の省境地域)

### 2. 代表者・共同研究者・協力者（および組織）

代表者 曉敏  
(内蒙古大学 経済管理学院・講師)

共同申請者 銭貴霞  
(内蒙古大学 経済管理学院・教授)

茶娜  
(内蒙古大学 経済管理学院・准教授)

張启鋒  
(内蒙古大学 経済管理学院・講師)

### 3. 期間

2015年6月から2016年3月まで

### 4. 目的

本研究交流の目的は、新ユーラシア鉄道の開通に伴って組織された「九市一盟」連携組織の越境的な地域連携に政策提案を提示すると同時に、こうした越境的な連携協力事例として越境地域政策基盤形成にも貢献していきたい。

### 5. 実績概要

研究課題の実施にあたり、「九市一盟」連携組織の主要都市である中国内モンゴル自治区シリントグ盟、それから関連ある地域のウランチャブ市、上海市、浙江省嘉興市、江蘇省蘇州市、北京市および河北省張家口市などで現地調査を行った。その成果を踏まえ、10月に日本愛知大学豊橋校舎、2016年2月に中国内蒙古大学において研究会を主催し、さらに2月27日に愛知大学三遠南信地域連携研究センター主催の「越境地域政策フォーラム」にて報告し、参加者とディスカッションを行った。

### 6. 今後の展開

本研究課題を実施することによって、中国国内の地級市の越境的な経済連携の現状と課題をある程度把握

することができた。中国国内の越境的な経済連携は、中国の国情とも関係するが、さまざまな課題を抱えている。現状としてはたくさんの越境的連携の事例があるものの、組織上・財政上さまざまな制度上の障壁が存在している。

こうした課題や制度上の障壁を整理することが、むしろ大きなテーマであり、掘り下げていくことによって越境的な経済連携のあり方などが浮かんでくる。今後それを中心に研究を進めていきたい。

### 7. 実施状況

名称：中国の地級市の越境的経済連携について  
(研究会)

日時：2015年10月31日(土)

場所：愛知大学豊橋校舎

概要：研究課題を巡って、「九市一盟」という中国の地級市の越境的経済連携の現状について報告し、参加者とディスカッションを行った。

参加状況：(機関数、参加人数、延べ人数)

3機関、7人

名称：中国国内の越境的経済連携について

日時：2016年2月21日(日)

場所：中国内蒙古大学経済管理学院

概要：中国国内の越境的な経済連携について、共同研究者を中心に事実確認や資料分析などを行い、その今後について議論した。

参加状況：(機関数、参加人数、延べ人数)

1機関、5人

区分	機関数	受入人数			延べ人数		
		外国人	若手研究者	大学院生	外国人	若手研究者	大学院生
学内(代表者法人内)	1				6		
国立大学							
公立大学							
私立大学	1				4		
大学共同利用機関法人							
公的研究機関							
民間機関							
外国機関	2				2		
その他							
計	8	0	0	0	(12)	0	0

## 8. その他実績

2016年2月27日、愛知大学三遠南信地域連携研究センター主催の「越境地域政策フォーラム」にて、『『新ユーラシア鉄道』の開通に伴う中国の地級市の越境的経済連携の現状と課題』の題で研究発表を行なった。

これらの成果を踏まえ、「愛知大学三遠南信地域連携研究センター紀要」に投稿する予定である。